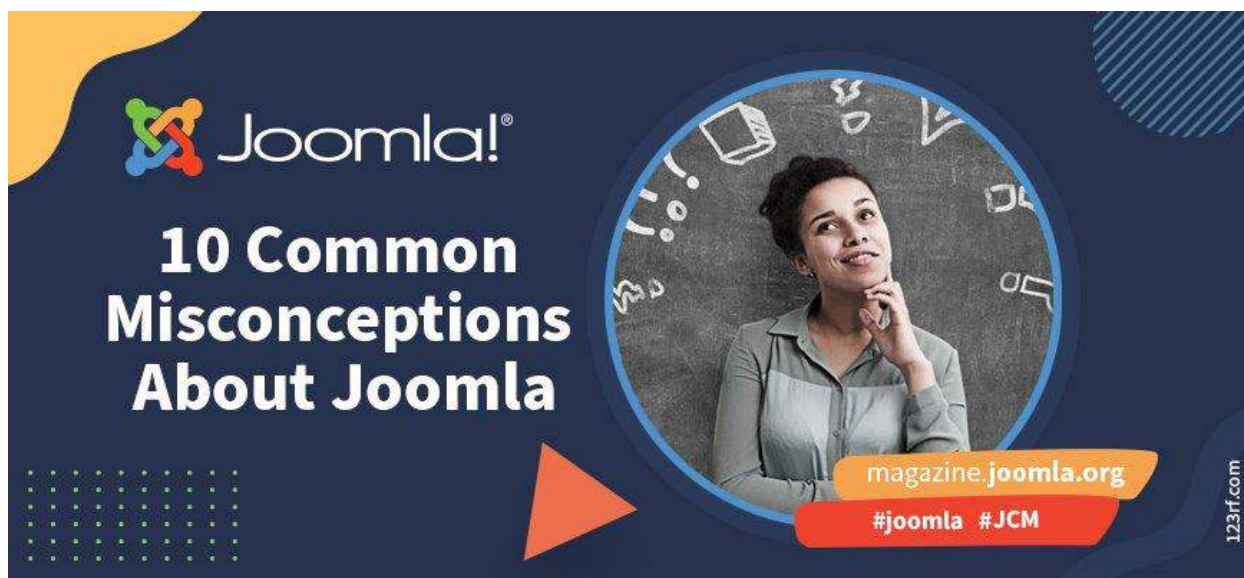


Joomla! に関する 10 のよくある誤解

<https://magazine.joomla.org/all-issues/december-2023/10-common-misconceptions-about-joomla>



2023 年 12 月 20 日

「一度不当に失われた名声は、認識のもろさを思い知らされる。」

人は自分の意見を明確にする傾向があります。時には、人は自分の行動に関係なく、成長しても失敗することがあります。 Joomla がこのような不当な扱いを受けていると信じており、2 セントを寄付したいと思います。15 年間、私はほぼ専ら Joomla に取り組んできました。何百人もの人々と Joomla について議論してきました。ここでは一般に受け入れられている 10 の意見を紹介しますが、これは個人的には真実ではないと考えています。

10. Joomla は e コマースサイトには適していません。

いくつかの CMS が e コマースを主な対象としているのは事実です。しかし、それは Joomla が大規模で複雑な e コマースウェブサイトの作成に使用できないということではありません。 Joomla の構造と拡張性により、サイト所有者が製品カタログ、ショッピングカート、注文管理システムを作成したり、さまざまな支払いゲートウェイやその他多くのものと統合したりすることができる数多くの e コマース拡張機能を作成することができました。

私は何千もの製品や買い物客のレベルを持つ多言語の e コマースサイトを見てきましたし、作成もしました。
アクセスレベルと言語に基づいてコンテンツをフィルタリングする Joomla のコア機能のおかげで、このようなタスクは簡単に取り組むことができます。

9. Joomla はお薦めできません。

人々がそう言うのは、 Joomla が PHP で書かれているからです。このプログラミング言語は確かに 1995 年に

発表されたが、現在使われている他の多くの言語も同様でした。 Java (Android で使用) と Javascript (Node.js と React で使用) は同じ年に発表され、C++ と Objective C (Linux、MacOS、iOS、Windows で使用) は 10 年以上前に発表された古いものです。

PHP は今でも活発に開発されており、フェイスブックやウィキペディアをはじめとする巨大なウェブサイトを支えている。

8. Joomla はモバイルフレンドリーではありません。

この信念は完全に不正確です。 Joomla は、バックエンドとフロントエンドの両方において、デフォルトで 100% モバイル フレンドリー です。

これをよりよく理解するには、Joomla がモバイルフレンドリー性を実現するために、レスポンシブなテンプレートを使っていることを考える必要があります。 さらに、そのレイアウトはレスポンシブ性も考慮して構築されています。

レスポンシブではないテンプレートを最後に見たのは 10 年以上前ですが、それでも CMS 自体から独立した存在のはずです。

7. Joomla は他の CMS ほど安全ではありません。

他の CMS やソフトウェアと同様に、Joomla はセキュリティアップデートを受けます。 **定期的なアップデートはセキュリティの欠如を示すものではなく、むしろ貢献者の注意深さに自信を持たせるものです。** Joomla コアの機能の多さを考えると、これらボランティアの注意深い態度は、印象的で賞賛に値します。

私の個人的な経験では、ハッキングされた最新の Joomla ウェブサイトを見たことがありません。 まれにハッキングされた Joomla サイトを見かけることがありますが、コアもエクステンションも ひどく時代遅れ でした。

6. Joomla のウェブサイトは視覚的に魅力的ではない

Joomla や WordPress を含むほとんどの CMS は、コンテンツを表示するために何らかのテンプレートの仕組みを使っています。 Joomla では、テンプレートは写真を配置するフレームのようなものです。 どちらも代用可能で、それぞれが独立しています。

Joomla のウェブサイトが魅力的でないと言う人は、**彼らが言っているのは Joomla そのものではなく、彼らが見たのはテンプレートであるという事実を単に見落しているだけです。** 適切なテンプレートを選択することは時に困難であることは事実ですが、Joomla を使用する場合、少なくとも、あなたのウェブサイトが単なる空虚なファサード (外観) ではないことに安心してください。

5. Joomla にはほとんどエクステンションがありません。

Joomla には、**現在 5,000 以上のエクステンションを保持する活気あるエクステンションエコシステムがあります。** これらのエクステンションは、e コマース、ソーシャルプラットフォーム、ニュースレター、フォーム、クイズ、ギャラリーなど、幅広い機能をカバーしています。

Joomla に比べ、他の CMS が多数のプラグインを提供していることは事実です。しかし、それは必ずしも良いことではありません。時には、そのようなプラグインの品質は本当に低く、その存在はフラストレーションと選択肢の過負荷をもたらすだけです。逆に、Joomla のエクステンションは構造的な要件により、よく作られ、維持されています。

4. Joomla は検索エンジンに優しくない。

Joomla 3 には SEO 機能にギャップがあったと言う人もいます。私個人はそのようなギャップを見たことはありませんが、今では Joomla 4 と 5 がそれらをすべて修正したことに誰もが同意しています。

Joomla にはいくつかの SEO 機能が組み込まれています。 これらには、検索エンジンフレンドリー URL や、ページタイトル、メタディスクリプション、個々のメニュー項目のキーワードを編集する機能が含まれます。さらに、Joomla はレイアウトに microdata (*) を含み、古い URL のリダイレクトをコアで提供しています。

(訳者注 : [microdata](#) とは、HTML5 では、文書の内容に対して機械に分かる形式で意味づけを行う [自動セマンティック Web](#) のための新しい仕様が組み込まれた)

これらの機能は、利用可能な幅広い SEO 拡張機能とともに、検索エンジンの可視性のために、最適化された、構造化されたウェブサイトを構築するために必要なすべてを提供しています。

3. Joomla は柔軟性に欠ける

プログラミングレベルでは、Joomla は PHP のオブジェクト指向と名前空間を活用し、箱から出してすぐに機能豊富な環境を提供するために、そのコアをクラスに編成します。このアプローチについて議論するときに、見落とされがち (overlook)なのは、**これらのクラスのほとんどがプラグイン用のイベントトリガーを提供している**ということです。他の CMS とは異なり、このようなトリガーは主に既存の機能を変更するのではなく、拡張することを目的としていることです。これは 本当に有益であり、すべてのインストールにおいて コアの安定性と均一性を保証するからです。

ユーザーレベルでは、Joomla は他の CMS よりもはるかに柔軟です。 ビューとレイアウトはテンプレートでオーバーライドすることができ、フロントエンドに表示されるすべてのものを カスタマイズすることができます。モジュールとメニューアイテムには、他のページングシステムでは省略されるオプションが自動的に含まれます。

ご存知でしたか？

Joomla のモジュールには **"Bootstrap size "** (*) と呼ばれるオプションが含まれています。適切なフロントエンドテンプレートであれば、Joomla はモジュールをカラムに分割するようあらかじめ設定されています！

(訳者注 : [後述—Bootstrap size](#) の利用例。)

要約すると、Joomla は使い方さえ知っていれば、他の CMS と同じくらい柔軟性があるということです。

2. Joomla は遅い。

Joomla は無料の CMS であり、多くの優れた無料エクステンションと様々な無料テンプレートを提供しています。その結果、低予算のユーザー、多くの場合、非営利団体さえも惹きつけています。このようなウェブサイトをハイエンドで高価なプロジェクトと比較するのは不公平な比較としか考えられません。

実際には、Joomla は非常に高速です。 組み込みのキャッシュとパフォーマンスメトリクスを提供し、TTFB（*）を非常に詳細に分析することができます。

（訳者注：TTFBとはー（Time To First Byte の略で、ブラウザがサーバーからのデータの最初の 1 バイトを受け取るまでにかかる時間のことです。）

一般的に、**ウェブサイトの速度**は数十の要因に依存します：

- ・ ホスティング環境
- ・ サーバー構成
- ・ ウェブサイトのコンテンツのサイズと複雑さ、
- ・ 選択したテンプレート 等々

最終的に、人々が Joomla が遅いと言うとき、彼らは通常、CMS 自体ではなく、**特定のテンプレートやウェブサイトでの経験**を比較しています。

1. Joomla は学ぶのが難しい。

これは Joomla に関する最も一般的な誤解です。 Joomla は箱から出してみるとより多くの特徴と機能を持っていますが、非常にユーザーフレンドリーに設計されています。

一般的に理解しにくいと思われるのは**メニュー構造**です。 Joomla には、フロントエンドでコンテンツを表示する際、特徴的な方法があり、それは次のステートメントに要約できます。：

コンテンツは、ユーザーが望まない限り、フロントエンドに表示されません。

これを理解するためには、Joomla のウェブサイトは**バックボーンであるメニュー**に依存していることを理解する必要があります。 メニューの各ページには 3 つの基本要素があります：

1. Joomla コンポーネントに由来するメインコンテンツ
2. モジュールと呼ばれる再利用可能なサイドコンテンツアイテム
3. 上記のポジショニングを制御するテンプレート

メインコンポーネントはメニューアイテムオプションで選択されます。 それは"コンポーネント "配下に見られる記事、カテゴリ、その他のものです。 モジュールとテンプレートスタイルは、それぞれのバックエンドインターフェースから複数のメニューアイテムに割り当てられています。 これを知れば、必要なものをどのように構築し、その性質に応じてどこに配置する必要があるかが分かります。 **他の CMS とは異なり、このシンプルなアーキテクチャが優れた配置と適切なウェブサイトデザインをプロモートしています。**

さらに、Joomla は様々なドキュメントやチュートリアルを提供しており、ユーザーが効果的に使用方法を学ぶのに役立ちます。 また、ユーザー、開発者、デザイナーの大規模で活発なコミュニティがあり、サポートや質問への回答を提供しています。

結論

すべてをまとめると、Joomla は優れたユーザーエクスペリエンスを提供すると同時に、高品質で構造化されたウェブサイトの作成を保証します。 一部の人の言葉にもかかわらず、Joomla は信頼できる環境であり続け、多数のニーズと少数の好みの間で顕著なバランスを取ることができます。

以上

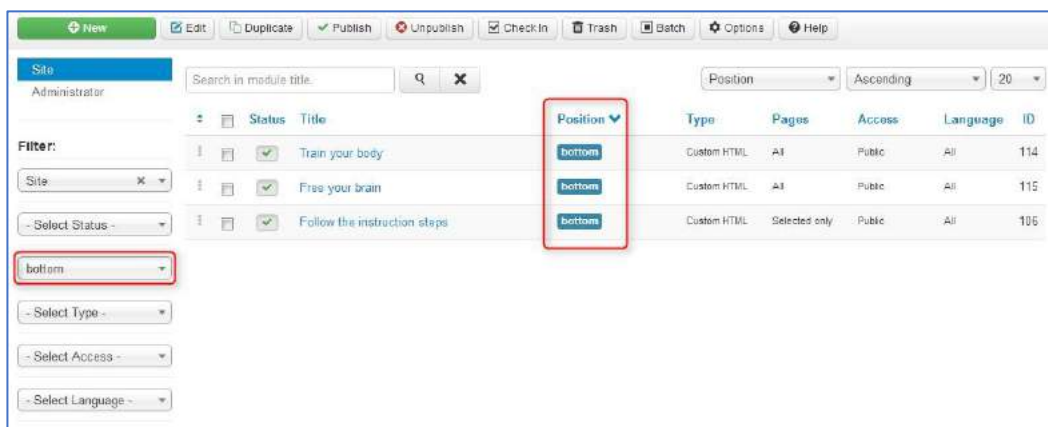
補遺) Bootstrap size の利用例

<https://www.joomla-monster.com/documentation/template-tutorials/how-to-use-bootstrap-size-option>

1. ブートストラップサイズ

- 1) 同じモジュールポジションに3つのモジュールを配置する。

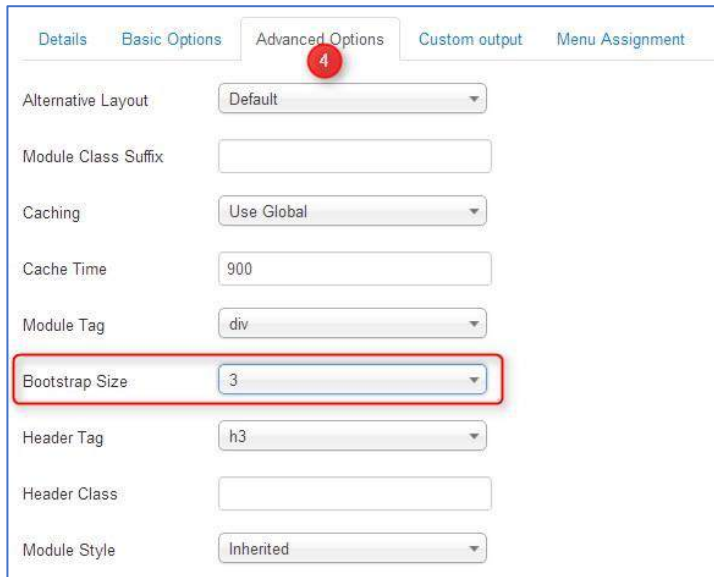
各モジュールに「ブートストラップサイズ」 オプションを使用して、3つのモジュールすべてを**他の行と異なる列幅に配置**できます。



2) モジュールの「高度な設定」タブのパラメータ

ボトムポジションを次の 3 つの列に分割したい場合: **25%-25%-50%**

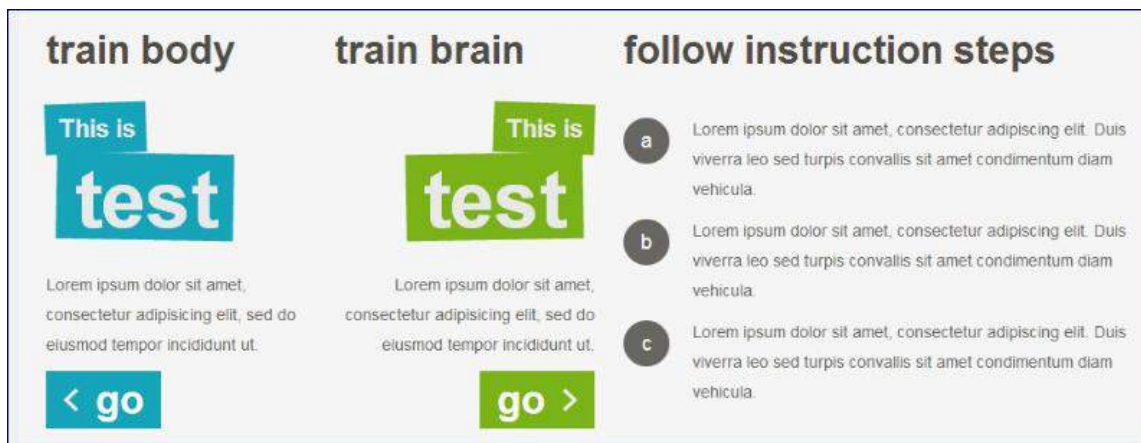
ブートストラップグリッドシステム (行 12 分割) のルールを考慮して、3 つの列に適切な値を選択して各モジュールを編集します: 「3-3-6」



Details	Basic Options	Advanced Options	Custom output	Menu Assignment
Alternative Layout	Default			
Module Class Suffix				
Caching	Use Global			
Cache Time	900			
Module Tag	div			
Bootstrap Size	3			
Header Tag	h3			
Header Class				
Module Style	Inherited			

2. 結果

下图のとおり、コラムの幅は取得したい値を反映し、各モジュールが配置されます。



train body	train brain	follow instruction steps
<p>This is</p> <p>test</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut.</p> <p>< go</p>	<p>This is</p> <p>test</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut.</p> <p>go ></p>	<ul style="list-style-type: none">a Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Duis viverra leo sed turpis convallis sit amet condimentum diam vehicula.b Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Duis viverra leo sed turpis convallis sit amet condimentum diam vehicula.c Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Duis viverra leo sed turpis convallis sit amet condimentum diam vehicula.

以上